

# 静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

① 対象者	2016年5月～2019年8月に悪性腫瘍による胆管閉塞に対して内視鏡的 金属ステント留置術を行い、その後にステント閉塞が起きて胆管炎を発症し た方。			
② 研究課題名	悪性胆道狭窄に対する金属ステント閉塞に起因する胆管炎に関する検討			
③ 実施予定期間	承認日 ～ 2020 年 12 月			
④ 実施機関	静岡がんセンター			
⑤ 研究代表者	氏名	石渡 裕俊	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑥ 当院の研究代表者	氏名	石渡 裕俊	所属	静岡がんセンター 内視鏡科
⑦ 使用する検体・データ	電子カルテ情報			
⑧ 目的	悪性胆管閉塞に対する治療としての内視鏡的金属ステント留置の方法は、内 視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）によるものと超音波内視鏡下胆道ドレナ ーシ術（EUS-BD）によるものがあります。金属ステント留置後には、ステ ントの閉塞による胆管炎の発症が問題となりますが、ステントの留置経路の 違いによって発症する胆管炎に違いがあるかどうかはまだ明らかになってい ません。その違いがあるかどうかを明らかにすることが、今回の研究の目的 です。結果によって胆管炎発症時の適切な治療法の選択に有益な情報が得ら れ、患者さんの胆管炎の早期改善に寄与できる可能性があります。			
⑨ 方法	胆管閉塞に対して内視鏡的に金属ステントを留置した後に、金属ステント閉 塞によって胆管炎をきたした患者さんの診療録から必要な情報を収集し、解 析を行います。あらたに追加検査を行うことはありません。			
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019 年 11 月 1 日		
⑪ 公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫ プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報を使用しません。			
⑬ 知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭ 利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮ 資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯ 問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）
	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。			

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長